

5 指導計画 全8時間 (24Q)

別紙「単元カード」参照

2 日目

6 本時の構想<第2日目> 6/8時間 (45分授業)

(1) ねらい

これまでの自分の知識や経験をつなぎ、「白神山地が提言していることは〇〇であると考える」という自分の考えをもつことができる。

(2) 展開

学習活動と子どもの姿 ☆考えるすべ	教師の働き掛け
<p><b>1 白神山地にある緩衝地域の内容の確認をし、前時に判断した緩衝地域に対する自分の立場を振り返る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文2から、緩衝地域に対する叙述を探し、発表する。 「一般の人も自由に入ることが許されている地域です」 「大規模な観光施設はなく、遊歩道なども、できるだけ自然の姿を変えないように造られている地域です」 「樹木の伐採などは行えない地域です」 「人間が自然とふれ合う活動を受け止め、核心地域にいきよをおよぶことを最小限にとどめている地域です」</li> <li>納得できる、納得できない、迷っているのそれぞれの立場を選んだ根拠を発表する。 「わたしは、緩衝地域に納得できます。緩衝地域があることで、人は自然体験をすることができ、自然を守っていきこうという気持ちをもてると思ったからです」 「わたしも、納得できます。自然を体験することで、自然を守る意味や大切さを分ることができると思います」 「わたしは、緩衝地域の事例に納得できません。人が自然の中に入ることによって、自然環境がこわされてしまう可能性があるからです」 「わたしも、納得できません。富士山がゴミの問題があるように、緩衝地域でもゴミのことが問題になって、自然を守れないと思います」 「わたしは、まだ迷っています。緩衝地域があることで、確かに人と自然とがふれ合え、自然を守ろうとする気持ちをもてると思うけれど、自然を守ろうと思わない人もいると思うからです」 「わたしも、迷っています。自然とふれ合っても、どのような気持ちをもつかは、その人次第だと思うからです」</li> </ul>	<p>○説明「前の時間に教材文2を読みましたね」 ○発問「緩衝地域とは、どのような地域でしたか」 【働き掛け4】 ※教材文(拡大掲示)に傍線を引き、各地域についての内容をおさえる。</p> <p>○説明「この緩衝地域があることで自然を守る気持ちをもつということに納得できるかどうかを考えましたね」 ○指示「どちらの立場にしたのか、選んだ根拠を発表してください」 ※決めた立場ごとに挙手させ、立場ごとに数名に発表させる。 ※発表された根拠は、立場ごとにまとめて板書する</p> <p>○説明「今日は、緩衝地域がある白神山地が、私たちに何を提言しているのかを考えましょう」 ○提示 本時の課題を板書して提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">             白神山地からの提言を考えよう         </div>
<p><b>2 白神山地の緩衝地域に入った人についての資料を読み、どちらに納得できるかを判断す</b></p>	

ることで、自分の知識や経験をつなげる。

- ・提示された資料を読む。

- ・どちらの資料に納得できるのかを判断し、判断した根拠を書く。  
「資料④の、白神山地を旅行した小学生の感想に納得できます。白神山地に行ったことで、自分でできるかぎりのことをやって、これからも自然を守ろうと思っ

**3 自然とのかかわりについてもっている知識や経験を根拠に、白神山地からの提言は何かという自分の考えをもつ。**

- ・これまでの自分の知識や経験を分析し、白神山地が私たちに提言に提言していることは何かを判断し、自分の考えを書く。  
「白神山地は、私たちに自然とふれ合うことの大切さを提言している。なぜなら、自然とふれ合うことで、人は自然のすばらしさや大切さが分かるからだ。わたしも、自然とふれ合っ

- 説明「ここに、実際に白神山地の緩衝地域に入った人について書かれた文章があります」
- 指示「2つの資料を読んでみましょう」  
※2つの資料を配付し、資料を拡大したものを掲示する。  
※2つの資料を一斉音読させる。
- 発問「あなたは、どちらの資料に納得できますか」【働き掛け5】
- 指示「納得できると判断した根拠を、具体的に書いてください」  
※ワークシートを配付する。  
※これまでの知識や経験を想起して根拠を記述している子どもの記述を全体に紹介し、自分にも似たようなことがなかったかを考えられるようにする。
- 指示「どちらの資料に納得できたのか、納得できる根拠を発表してください」  
※資料ごとに、発言された根拠をまとめて板書する。

- 説明「これまでに、世界遺産白神山地に関するいくつかの文章を読んできましたね」
- 発問「では、世界自然遺産である白神山地は、わたしたちに何を提言していると考えますか」【働き掛け6】
- 指示「ワークシートに、今のあなたの考えを書きましょう」  
※時間があれば、それぞれに考えた白神山地からの提言内容を発表させ、考えの交流を行う。

**(3) 評価**

これまでの自分の知識や経験を根拠として、「白神山地が提言していることは〇〇である」という自分の考えをもつ。  
(評価の方法) ワークシートの記述内容から評価する。